

生育マップとセンサを利用した 秋まき小麦の収量安定化

概要 Abstract

①過去の衛星データ（生育マップ）を使って起生期の追肥ができます。

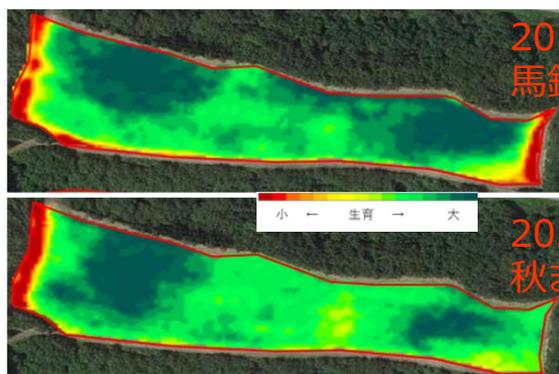
②幼穂形成期以降のセンサを使った施肥と組み合わせると収量が高位安定化します。

マップ

センサ

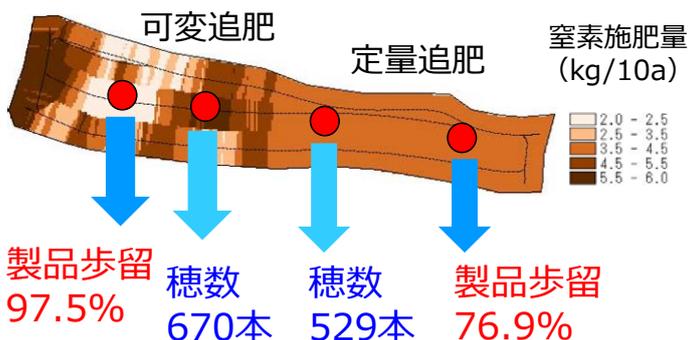


成果 Results



2019年7月17日
馬鈴しょ

2020年4月17日
秋まき小麦

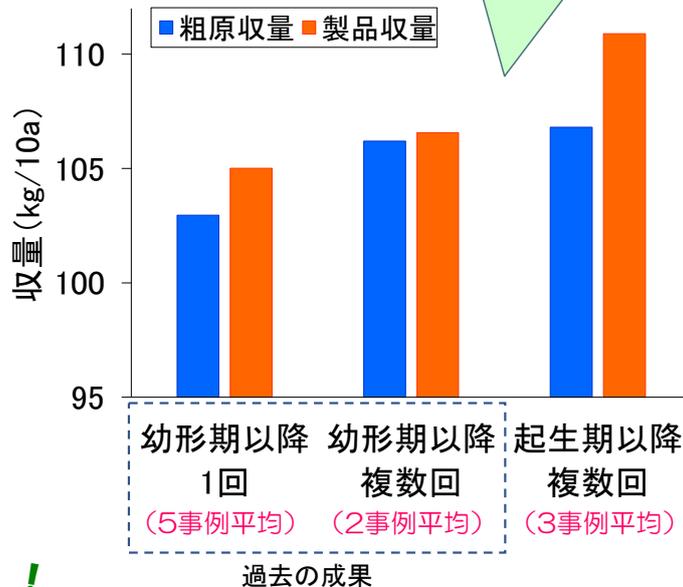


- 毎年生育が悪い箇所で穂数増（収量の底上げ）！
- 毎年生育が良い箇所で製品歩留まりの低下抑制！

普及 Dissemination

秋まき小麦の収量安定化技術として活用できます。

可変施肥は早い時期から複数回組み合わせると効果的！



連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 生産システムグループ
0155-62-9835
tokachi-agri@hro.or.jp